

第 27 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会のご挨拶

第 27 回 日本産婦人科・新生児血液学会
学術集会会長 大 戸 齊
(福島県立医科大学 輸血・移植免疫部)
副会長 藤 森 敬 也
(福島県立医科大学 産婦人科学)

謹啓

日本産婦人科・新生児血液学会の会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

この度、第 27 回日本産婦人科・新生児血液学会を 2017（平成 29）年 6 月 2 日（金）、3 日（土）の 2 日間の日程で福島市に於いて開催いたします。

本学会は、40 年の歴史をもつ学会で、出血や血栓から妊産婦と胎児・新生児を守るという重要なテーマに取り組んで来ました。

シンポジウムには、「産科大量出血におけるフィブリノゲン製剤の保険適応」を目指して、医学界のみならず国民的社会的な観点から取り上げる予定です。

ワークショップでは、「血友病保因者の分娩と新生児管理」、「胎児輸血のトピックス」などを企画しています。

教育講演には「Zika virus と妊婦、胎児」、「先天性溶血性貧血」を予定しています。

会場は、福島駅西口から歩いて 3 分の「コラッセふくしま」です。駅から大変近く宿泊施設も周辺に多くあります。

この学術集会を機会に多くの皆様に福島の初夏を楽しんでいただければ幸いです。

福島県立医科大学の輸血・移植免疫部は NICU と産婦人科の協力を得て、学会が盛会に滞りなくとり行われるよう準備に力を尽くしております。

2011 年の東日本大震災から復興しつつある福島での学会にふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

謹白